

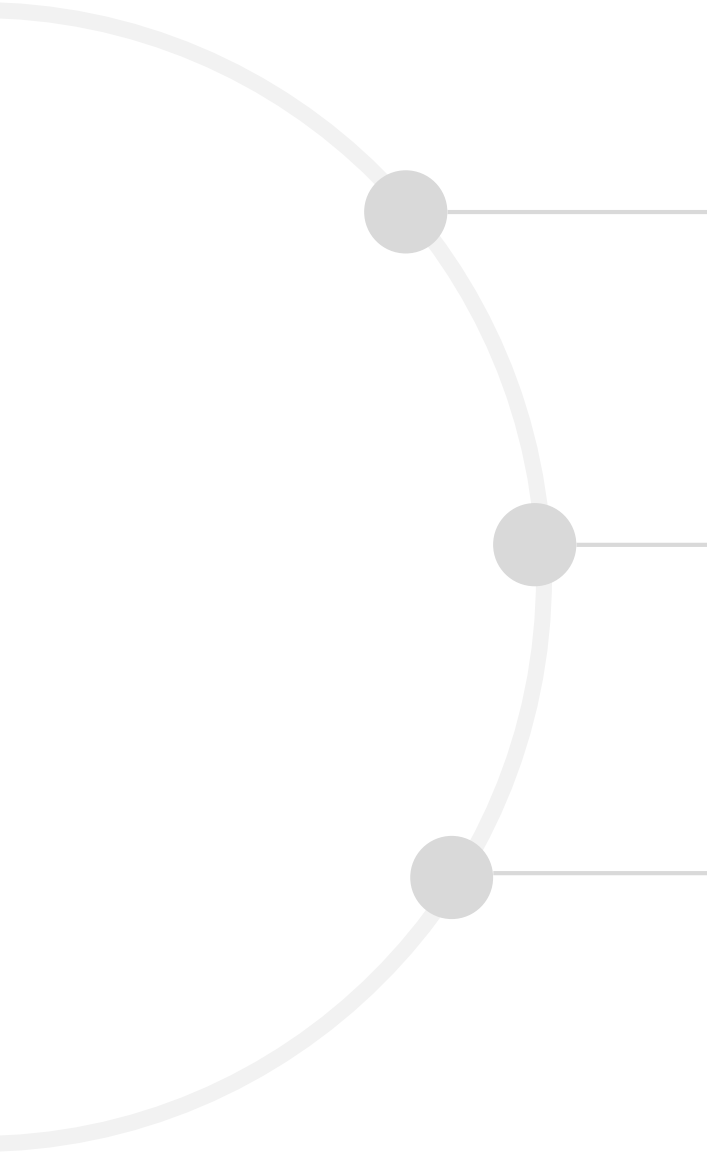
# 門真市第4期地域福祉計画 進捗状況について

令和6年度の実施状況

令和7年6月27日(金)

門真市保健福祉部福祉政策課





## 基本目標Ⅰ

### 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

- 基本施策 1 誰もが理解しあい支え合える意識づくり ..... 4
- 基本施策 2 地域で活躍する人づくり ..... 6
- 基本施策 3 地域福祉活動の促進 ..... 8

## 基本目標Ⅱ

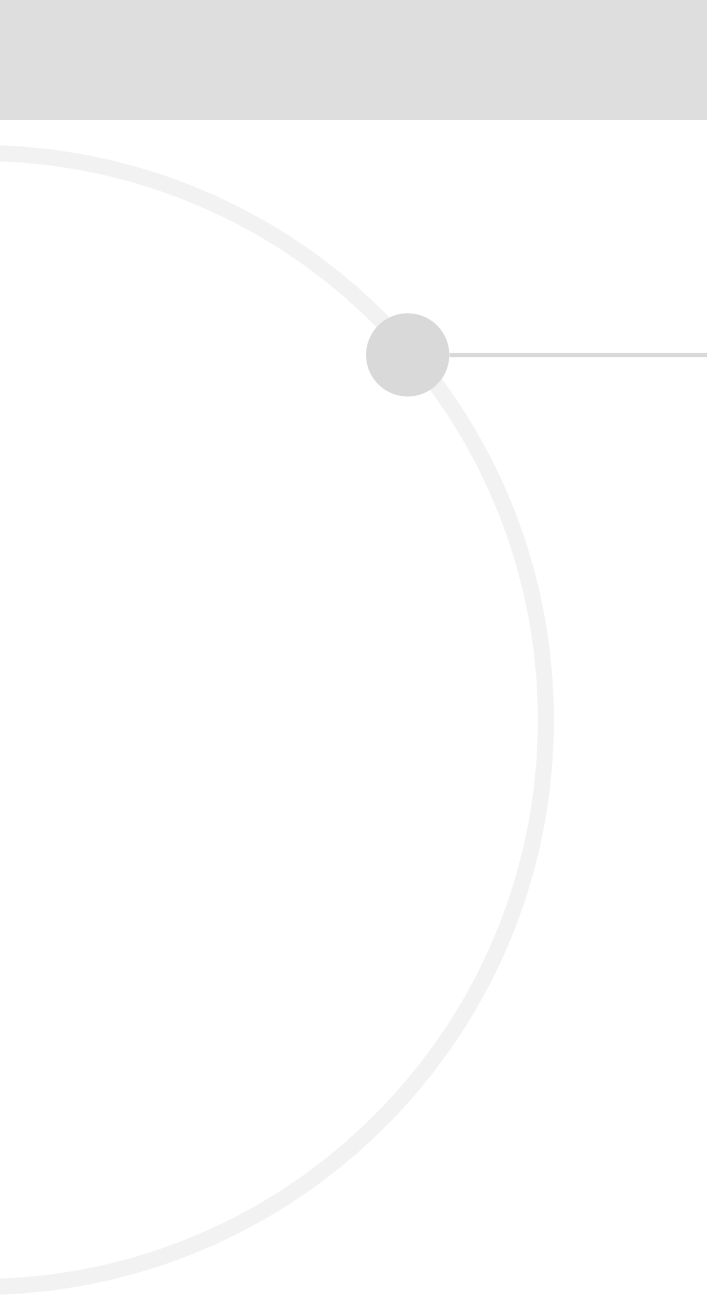
### 包括的な支援体制づくり

- 基本施策 4 組織横断的な支援体制の整備 ..... 11
- 基本施策 5 生きづらさを抱える人への支援 ..... 14

## 基本目標Ⅲ

### 安心・安全に地域で生活できるまちづくり

- 基本施策 6 権利擁護の推進(門真市成年後見制度利用促進計画) ..... 16
- 基本施策 7 災害時の安心・安全の仕組みづくり ..... 19
- 基本施策 8 すべての人にやさしいまちづくり ..... 21



## 基本目標 I

### 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

#### 基本施策 1 誰もが理解しあい支え合える意識づくり

児童・生徒に対する福祉に関する学習の機会の充実 / 社会福祉協議会が実施する福祉教育の推進 / 市民が障がいについて理解する機会づくり / 認知症サポーター養成講座の実施

#### 基本施策 2 地域で活躍する人づくり

中学校区単位の「地域会議」の活動支援 / 民生委員・児童委員の活動支援 / まつり等の実施でコミュニティ活動の活性化及び賑わいの創出 / 公民連携子どもの居場所「子ども LOBBY」の提供

#### 基本施策 3 地域福祉活動の促進

校区福祉委員による小地域ネットワーク活動の活動支援 / 認知症の方の生きがいある生活をめざす「ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会」との協働による活動の推進 / 高齢者の見守りネットワークの推進

## 基本目標Ⅰ 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

### 基本施策1 誰もが理解しあい支え合える意識づくり

P44-45

#### 取組項目 身近な地域での福祉教育・福祉学習機会の拡充

##### 取組内容 児童・生徒に対する福祉に関する学習の機会の充実

学校教育課

###### 取組状況

中学校の生徒会と障がい者福祉施設との交流会を実施した。  
障がい者福祉施設においても、職場体験学習を実施した。

###### 課題・改善点

福祉教育・福祉学習に関する学校の理解推進と、地域福祉関係機関との連携推進が課題。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

##### 取組内容 社会福祉協議会が実施する福祉教育の推進

社会福祉協議会

###### 取組状況

令和6年度において、小中学生を対象に36回の体験型の福祉教育の推進を図った。障がいを持つ当事者の講話や点字や手話などの体験学習やボッチャなどのパラスポーツ体験を通じて、障がい者理解の啓発を行うことができた。

###### 課題・改善点

学校行事のスケジュールの都合上、9月から12月にかけて依頼が集中したために、対応する当事者やスタッフの確保に苦慮することがあったが、学校での事前学習や事後学習を導入してもらうことで、主体的な福祉教育の推進ができた。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組内容 市民が障がいについて理解する機会づくり

障がい福祉課

### 取組状況

12月1日に実施された総合防災訓練にブースを出展し、啓発物の配架及び災害時に障がい児者が使用できる防災グッズや支援方法などの紹介を実施。障がい者週間ふれあいキャンペーンを12月3日～9日の障がい者週間に合わせて実施。

門真市役所別館玄関ロビーや市民プラザ等で障がい者理解促進チラシ、自主製品等の配架及び販売。門真市役所別館前芝生広場で自主製品の販売、啓発物の展示。

### 課題・改善点

引き続きより多くの市民への啓発活動を目指す。

### 今後の方針

継続

### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組内容 認知症サポーター養成講座の実施

高齢福祉課

### 取組状況

認知症サポーター養成講座 35回実施(474人養成)

### 課題・改善点

前年度よりも多い回数の養成講座を開催することができた。  
今後は、認知症高齢者の多い地域など、ターゲットを絞った養成講座の開催を検討。

### 今後の方針

改善

### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 基本目標Ⅰ 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

### 基本施策2 地域で活躍する人づくり

P46-47

#### 取組項目 地域福祉を担う人材の発掘・育成

##### 取組内容 中学校区単位の「地域会議」の活動支援

地域政策課

###### 取組状況

全地域会議の代表者が参加する地域会議代表者会議を開催し、意見交換を行い、各地域会議の情報共有を図った。

###### 課題・改善点

地域活動の担い手や人材の不足。

###### 今後の方針

継続

###### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

##### 取組内容 民生委員・児童委員の活動支援

福祉政策課

###### 取組状況

市ホームページや大阪府民児協連の更新を適宜行い、民生委員の仕事内容や制度内容について情報提供や活動PRを行った。また自治連合会の役員会で説明したり、各自治会にも活動内容がわかるチラシ等配布を行った。

###### 課題・改善点

令和6年度も欠員は依然として生じている。全国的にも民生委員の担い手確保については課題となっているが、門真市においても担い手確保につながるよう、引き続きホームページや市役所内のインフォメーションなどを利用したり、自治連合会等にも情報発信を継続する。

###### 今後の方針

継続

###### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組項目 気軽に集える場の創出(交流機会の拡大や社会参加支援)

取組内容 まつり等の実施でコミュニティ活動の活性化及び賑わいの創出

地域整備課

### 取組状況

賑わいの創出については、地域の事業者等がやりたいことを実現できる広場「TRIAL PARK(トライアルパーク)」にて、月に1度にマルシェ等のイベントを開催した。

### 課題・改善点

門真市駅周辺は大企業の業務地が数多くあり、通勤の乗降客も多いものの、乗降客は駅周辺エリアに滞在することなく、駅周辺のまちの賑わいは薄れている状況が課題と捉えている。多様な人の流入を持続的に誘発する仕組みづくりを引き続き進め、まちの賑わいを創出していく必要がある。

今後の方針

継続

評価



A

目標達成に向けて順調に進んでいる

取組内容 公民連携子どもの居場所「子どもLOBBY」の提供

こども政策課

### 取組状況

子どもの居場所の時間帯に2,164名の来所があり認知度が向上してきているのが伺える。また、14名の不登校児童支援の登録があり、毎週日曜日に開催しているキャリア教育イベントは417名の受講があった。

### 課題・改善点

不登校児童支援の登録者数は増加している。今後も登録した児童・生徒が継続して子どもLOBBYに通えるよう個々に寄り添った環境づくりに取り組んでいく。

今後の方針

継続

評価



A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 基本目標Ⅰ 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

### 基本施策3 地域福祉活動の促進

P48-49

#### 取組項目 団体への活動支援

取組内容 校区福祉委員による小地域ネットワーク活動の活動支援

福祉政策課

##### 取組状況

市社協に小地域ネットワーク活動推進事業補助金を交付し、市内15地区の校区福祉委員会による住民主体の活動を展開することにより、高齢者や障がい者(児)、子育てに支援が必要な人等が地域の中で孤立することなく、安心して生活できるよう取り組んだ。

グループ援助活動参加者数 … 29,157名  
個別援助活動参加者数 … 7,471名  
認知症サポーター養成 … 2回(参加者数24名)  
精神障がい者理解促進事業 … 2回(参加者数38名)  
小地域ネットワーク活動リーダー研修会 … 1回(参加者数10名)  
災害・防災研修会 … 1回(参加者数21名)  
地域力アップ研修会 … 1回(参加者数30名)

##### 課題・改善点

一部の地区でいきいきサロンの回数が減り、グループ援助活動参加者が大幅に減少したが、世代間交流については、各地区で積極的な活動がされており、増加傾向となっている。今後も皆が集える場所として交流の場を設け、参加者の取り込みを図る必要があるため、引き続き事業実施団体である社会福祉協議会と連携し、積極的な活動を促していく。

個別援助活動については、現在、対象者の大半が高齢者であるため、障がい者や子育て中の親子などを対象とした活動について、情報提供を行うなど、多様な人が活動しやすい環境の整備に努める。

##### 今後の方針

継続

##### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組項目 ボランティア活動の推進

取組内容 認知症の方の生きがいある生活をめざす、「ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会」との協働による活動の推進

高齢福祉課

### 取組状況

イベント(RUN伴プラス門真)の実施や、ゆめ伴サロンや認知症カフェの開催など、認知症地域支援推進員も参画しながら取り組んでいる。

### 課題・改善点

さらなる活動の推進をめざし、協働していく。

### 今後の方針

継続

### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組項目 身近な地域での見守り、支え合い活動の促進

取組内容 高齢者の見守りネットワークの推進

高齢福祉課

### 取組状況

高齢者見守り協定は22団体締結(通常業務に支障のない範囲内で、高齢者で異変のある場合に通報する)。SOSネットワーク事業者登録数は17事業所(行方不明となった高齢者の情報を提供し、通常業務に支障のない範囲内で検索)

### 課題・改善点

見守りをさらに強化するため、高齢者見守り協定の締結やSOSネットワーク事業者登録数をさらに増やしていく。

### 今後の方針

継続

### 評価

 B

取組が遅延している



## 基本目標Ⅱ

### 包括的な支援体制づくり

#### 基本施策4 組織横断的な支援体制の整備

分野を問わない福祉の総合相談窓口であるコミュニティソーシャルワーカー(CSW)の相談支援機能の向上 / 障がい者基幹相談支援センター / 子どもの未来応援チーム / 門真市障がい者地域協議会

#### 基本施策5 生きづらさを抱える人への支援

相談者の自立に向けた伴走型の支援・就労に不安がある人に向けた社会参加やカウンセリングによる段階的な就労支援 / 大阪府と連携した住まいの確保(Osakaあんしん住まい推進協議会) / さまざまな場面で悩みを抱える人の自殺のサインに気づき適切な支援につなぐ 他

## 基本目標Ⅱ 包括的な支援体制づくり

### 基本施策4 組織横断的な支援体制の整備

P50-51

#### 取組項目 相談対応力の向上

取組内容 分野を問わない福祉の総合相談窓口であるコミュニティソーシャルワーカー(CSW)の  
相談支援機能の向上

福祉政策課

##### 取組状況

8050問題やひきこもり、ひとり親家庭の親子など、さまざまな課題を抱えた要支援者に対し、課題整理や関係機関との連携による支援、引き継ぎ等、専門的な相談支援を行った。  
また、ケース会議や地域福祉の担い手で構成する地域福祉連絡会を開催し、専門機関との連携強化を図り、要支援者に対する見守り・相談・つなぎのセーフティネット体制づくりに努めた。

相談受付延べ件数 510件

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

##### 課題・改善点

本事業の相談者の多くが生活費に関する相談などの生活困窮を背景とした課題を抱えており、本事業と同様に社会福祉協議会に委託している生活困窮者自立相談支援事業との連携を図ることで、要支援者の包括的な支援が可能となり、円滑な課題解決を図ることができた。

課題としては、ひきこもりや介護、医療や各種福祉サービスに繋がっていないなど、問題が複合化していて、CSWのみの関わりでは対応が困難な事例が発生しているため、関係機関と連携を図りながら、普段から顔の見える関係性をつくっていく必要性がある。

また、生活困窮に関する相談については、特に緊急性の高いものが多く、CSWに相談があった時点で相談者自身の力では改善が困難な状態になっており、従来の支援の枠組みだけでは対応できない状況が生まれてきている。

行政機関や医療機関などの関係機関等とさらなる連携を図り、要支援者が必要とする支援を迅速に提供できる体制づくりを進めることで、課題解決に努める。

また、相談者に対し、より早い段階でCSWに相談してもらえるよう、本事業の周知をより一層充実させ、福祉のなんでも相談員としての認知度の向上を図ることで、より多くの市民に対して支援を行っていく。

加えて、地域の状況をよく把握している民生委員や校区福祉委員、地域会議や地域の子育てサロンといった社会資源等も含めて、地域のネットワークを強めていくことで、支援を必要とする人を少しでも早く把握できる環境づくりを進めていきたい。

## 取組内容 障がい者基幹相談支援センター(各分野において相談者の悩みを包括的に受け止め、適切な支援につなげる) 障がい福祉課

### 取組状況

門真共生福祉会に業務委託。門真市障がい者地域協議会をはじめとする関係機関とのネットワーク構築会議等の出席及び開催回数は143回、ネットワークを活用し、障がい児(者)の支援を実施した延べ人数は1,102人であった。

### 課題・改善点

引き続き、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、業務の充実及び地域の相談支援体制の強化に取り組んでいく。

### 今後の方針

継続

### 評価



A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組内容 子どもの未来応援チーム(各分野において相談者の悩みを包括的に受け止め、適切な支援につなげる)

## こども政策課

### 取組状況

子どもの貧困対策事業として、「子どもの未来応援ネットワーク事業」を平成29年10月から実施し、支援が必要な子ども等の発見から支援までトータルに対応できるネットワークを市民・企業等と構築している。令和6年度に新たに51世帯の支援に着手し家庭環境を改善に取り組んでいる。

### 課題・改善点

「子どもの未来応援団員」登録者数が1,700名を超え、情報誌で「子ども食堂」や「宿題カフェ」などの活動を周知したことにより、子どもの居場所で見守りを行う応援団員が増加したことで「子どもの未来応援チーム」に提供される情報も増加した。今後は団体等からの応援団員登録申込だけでなく、市民からの申込を増やすためより市民への応援団員募集の周知に努める。

### 今後の方針

継続

### 評価



A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組項目 分野を超えた組織間連携

### 取組内容 門真市障がい者地域協議会

(既存サービスでは対応困難な課題を解決するため、新たなサービス・仕組みづくりを進めるため  
コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が中心となり、関係機関と連携し取り組む)

障がい福祉課

### 取組状況

地域協議会は、学識者、医療、保健、福祉、教育に関連する機関の代表者や関係団体の代表者及び行政職員で構成されており、年に2回開催し、ネットワークの構築の強化を図った。

#### 【第1回】

- ①令和5年度相談支援事業実施状況について
- ②令和5年度障害者虐待防止法に係る対応状況について
- ③門真市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の進捗状況及び取組状況等について
- ④令和5年度門真市障がい者地域協議会部会の開催実績について
- ⑤障害者優先調達推進法に係る令和5年度の取組状況及び令和6年度の予定について

#### 【第2回】

- ①地域生活支援拠点ジェイエスの運営及び日中サービス支援型グループホームの運営に関する評価について
- ②令和5年度障害者差別解消法にかかる本市の対応状況について
- ③障がい者の理解啓発・理解促進について・障がい者週間キャンペーンについて

### 課題・改善点

引き続き、障がい者の理解啓発・理解促進に向けての取り組みを実施し、関係機関との連携をし、ネットワーク強化をさらに進める。

### 今後の方針

継続

### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 基本目標Ⅱ 包括的な支援体制づくり

### 基本施策5 生きづらさを抱える人への支援

P52-53

#### 取組項目 生活困窮者への支援

取組内容 相談者の自立に向けた伴走型の支援・就労に不安がある人に向けた社会参加やカウンセリングによる段階的な就労支援

福祉政策課

##### 取組状況

生活困窮者に対する総合的な相談窓口として「生活困窮者自立相談支援事業」を実施し、一人ひとりに合わせた支援計画を作成し、各種貸付や制度を利用しつつ、自立に向けた伴走型の支援を実施している。また、「就労準備支援事業」では、自力での就職が困難な方に対し、日常・社会的自立から就労までを一貫して支援し、「家計改善支援事業」では、家計改善の専門家がお金のやりくりなどをサポートし継続的に支援している。

##### 課題・改善点

困窮している人が、経済的、精神的に追い詰められてしまう前に支援を受けられるよう、相談窓口の周知に努める必要がある。就労準備支援事業・家計改善支援事業についても、利用者が増えるよう、周知に努める必要がある。

##### 今後の方針

継続

##### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

#### 取組項目 さまざまな自立支援の促進(住まい・再犯防止)

取組内容 大阪府と連携した住まいの確保(Osakaあんしん住まい推進協議会)

都市政策課

##### 取組状況

「あんぜん・あんしん賃貸検索システム」について、市ホームページへの情報掲載や窓口へのパンフレットの配架等により、周知を図った。また、住まい探しの相談に対し、Osakaあんしん住まい推進協議会HPの紹介や、市内の登録住宅等の情報提供を行った。

##### 課題・改善点

引き続き情報の提供・周知に努める。

##### 今後の方針

継続

##### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組項目 自殺防止の推進

取組内容 さまざまな場面で悩みを抱える人の自殺のサインに気づき適切な支援につなぐ 他

福祉政策課

### 取組状況

「門真市自殺対策計画」に基づき、自殺予防に関する施策を実施。門真市社協による役職員向け研修・傾聴ボランティア養成講座・地域力アップ研修会による人材育成を実施。

市民相談事業(こころの相談)にて、心の健康に問題を持つ市民向けに臨床心理士による対面相談を実施。

「こころといのちのSOSガイドブック」を関係機関に広く配布。

「チーム学校」支援体制充実事業として、教職員等を対象としたSOSの受け取り方などの研修を実施した。

### 課題・改善点

令和2年から令和5年にかけて自殺者数は横ばいで推移していたが、令和6年度においては減少が見られた。今後も引き続き、さらなる対策を講じる必要がある。

自殺の要因は非常に多岐にわたるため、誰一人取り残さない社会を実現するために、全庁的な対応を強化し、関係機関との連携を深めることが求められる。このような取り組みにより、自殺を未然に防ぐための対策を一層進めていく。

今後の方針

継続

評価



A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 基本目標Ⅲ

### 安心・安全に地域で生活できるまちづくり

#### 基本施策６ 権利擁護の推進（門真市成年後見制度利用促進計画）

各学校において、多文化共生、ジェンダー平等、同和問題等に関する人権教育の実施及び教員に対する研修 / 障がい者虐待に関する相談窓口の設置など、早期発見・早期解消・虐待再発防止の取組 / 児童虐待の予防と早期発見、早期援助のため地域や関係機関等と連携 / 社会福祉協議会の日常生活自立支援事業（金銭管理）の周知及び利用促進

#### 基本施策７ 災害時の安心・安全の仕組みづくり

防災訓練や防災講話などを通じた防災に関する意識向上、各種啓発 / 洪水時等における避難行動等を定めた避難確保計画の作成等支援 / 高齢者、障がい者などの支援が必要な人が円滑に避難するための方策の検討 / 避難行動要支援者名簿の作成・更新及び関係機関での情報共有

#### 基本施策８ すべての人にやさしいまちづくり

ICTを活用し、さまざまな行政サービスを気軽に受けられる環境の整備 / 市営住宅のバリアフリー化の推進 / 防犯に関する意識啓発、防犯カメラの設置

## 基本目標Ⅲ 安心・安全に地域で生活できるまちづくり

### 基本施策6 権利擁護の推進

P54-57

#### 取組項目 地域における相互理解の促進

取組内容 各学校において、多文化共生、ジェンダー平等、同和問題等に関する人権教育の実施及び教員に対する研修

学校教育課

##### 取組状況

各校の人権教育に関する年間計画に基づいた人権教育を実施。  
教職員向けの各種人権課題に関する校内研修や市教育委員会主催研修を実施。

##### 課題・改善点

取り扱う題材の偏りや、取組に学校や教員の意識差があるため、校区での合同研修を実施するなどし、9年間を見据えた人権教育を推進する。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

#### 取組項目 判断能力が十分でない人への支援

取組内容 社会福祉協議会の日常生活自立支援事業(金銭管理)の周知及び利用促進

社会福祉協議会

##### 取組状況

令和6年度においては新規契約者の7人を含む64人の利用者と契約を締結し、金銭管理サービスを含む福祉サービスの利用援助を行った。また、生活費を届ける支援は2,176回を数え、定期的な生活費を手渡すことで生活の安定を図った。

##### 課題・改善点

7件の新規契約を行ったが、利用者の死亡や転居等により10件の解約が発生したため、利用者数は前年度比で減少した。特に高齢者の居住環境が変化しているため、入居先での金銭管理を望まれるケースが増加している。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組項目 虐待の早期発見・対応

取組内容 児童虐待の予防と早期発見、早期援助のため地域や関係機関等と連携

こども家庭センター

### 取組状況

月1～3回の実務者会議、年1回(8月開催)の代表者会議において、関係機関との連携や情報共有を行い、支援体制の構築に努めている。市内小学校2校にてCAPプログラム(子どもへの暴力防止プログラム)を開催し、子ども自身がもつ権利について啓発を行った。また、主に子どもに直接関わる関係機関に向けて研修を実施したほか、各相談員のスキルアップをはかる研修へも積極的に参加した。

### 課題・改善点

令和6年度の児童虐待通告件数は533件であり、前年度(479件)から微増状態になっている。  
要保護児童等について就学前保育・教育機関や学校との文書での情報共有を毎月行い、児童虐待の早期発見・早期対応に努めている。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

取組内容 障がい者虐待に関する相談窓口の設置など、早期発見・早期解消・虐待再発防止の取組

障がい福祉課

### 取組状況

市町村が虐待防止の主たる担い手となり、本市においても、門真市障がい者基幹相談支援センターを障がい者虐待の早期発見や対応を担う機関(門真市障がい者虐待防止センター)として位置づけている。  
令和6年度の虐待相談実件数は43件となり、この内23件が虐待認定され、残りの20件が虐待の事実が確認されない、もしくは判断に至らずとなっている。

### 課題・改善点

虐待認定されたケースだけでなく、認定されなかったケースも通報に至るまでの何かしらの原因があるため、多くのケースは基幹相談支援センターや各支援機関によるフォロー体制が構築できている。引き続きフォロー体制の構築を継続していく。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 基本目標Ⅲ 安心・安全に地域で生活できるまちづくり

### 基本施策7 災害時の安心・安全の仕組みづくり

P58-59

#### 取組項目 災害への備えや支援

取組内容 防災訓練や防災講話などを通じた防災に関する意識向上、各種啓発

危機管理課

##### 取組状況

市広報紙に防災に関する記事を掲載し、防災意識の向上を図るとともに、校区、自治会、地域団体、事業者などにおいて、防災講話や防災訓練を通じて各種啓発を実施した。  
また、防災講話と合わせて、大阪府と連携し、密集市街地感震ブレーカー設置支援事業を推進した。

##### 課題・改善点

現在一部地域で行われている防災訓練や防災講話が、市域全域で行われるよう支援していきたい。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

取組内容 洪水時等における避難行動等を定めた避難確保計画の作成等支援

危機管理課

##### 取組状況

新たに開設された施設に対し、避難確保計画の作成等支援を行ったことで、全新施設の避難確保計画を作成することができた。

##### 課題・改善点

今後も新たな施設が出来次第、作成補助等行っていく。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組項目 避難行動要支援者の支援

取組内容 高齢者、障がい者などの支援が必要な人が円滑に避難するための方策の検討

危機管理課

### 取組状況

防災講話や防災訓練を通じて、自助の重要性など各種啓発を行うとともに、要配慮者が円滑に要配慮者利用施設に避難できるよう、施設に対して避難確保計画の作成を促した。

### 課題・改善点

引き続き要配慮者に対し、自助を始めとした各種啓発を行い、防災意識の向上を目指す。  
さらに、要配慮者利用施設での防災講話等を通じて、施設職員や利用者に避難確保計画に基づく避難訓練の実施を促す。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

取組内容 避難行動要支援者名簿の作成・更新及び関係機関での情報共有

危機管理課

### 取組状況

校区、自治会、地域団体、事業者などにおいて、防災講話や防災訓練を通じて啓発等促した。また、各避難所等で保管している避難行動要支援者名簿を更新した。

### 課題・改善点

各避難所保管している避難行動要支援者名簿を更新していく。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組項目 快適で利用しやすい生活環境の整備

取組内容 ICTを活用し、さまざまな行政サービスを気軽に受けられる環境の整備

ICT推進課

### 取組状況

マイナンバーカード等を活用した「申請書作成支援端末」の設置により、市民の利便性向上と行政の業務効率化を図った。

オンライン申請や手続きナビの利用範囲の拡充を行い、市民の利便性向上及び業務の効率化を図り、これにより、本市のオンライン化済行政手続数は、年度当初の導入手続数449手続から827手続に増加した。

スマホなんでも相談窓口やスマホ教室を実施し、デジタルに不慣れな市民へのサポートを進めた。

今後の方針

継続

評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

### 課題・改善点

- ・オンライン申請や手続きナビゲーションサイトの利用率の向上のための取組
- ・利用者数(友だち登録者数)を増やすための広報活動
- ・デジタルに不慣れな方でも利用していただけるような分かりやすい仕組みづくり
- ・市民が本当に必要としている情報の把握、効果的な発信
- ・オンライン申請可能手続きの拡充やさらなるLINE機能拡張による市民の利便性の向上
- ・スマホ教室及びスマホなんでも相談窓口の利用状況
- ・デジタルに不慣れな方に対する効果的な取組の検討

## 取組項目 快適で利用しやすい生活環境の整備

### 取組内容 市営住宅のバリアフリー化の推進

都市政策課

#### 取組状況

総数413戸のバリアフリー住戸を有する千石西町住宅第9棟及び第10棟の新築工事を進めており、令和7年7月30日竣工予定。

#### 課題・改善点

千石西町住宅については、確実な竣工を目指す。

#### 今後の方針

継続

#### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組項目 防犯活動の促進

### 取組内容 消費者被害に関する周知・啓発及び未然防止・早期発見による被害拡大防止

人権市民相談課

#### 取組状況

市内開催イベント等での啓発物品配布及び相談員による「くらしの講座」を実施した。広報、ホームページ、シティナビタ、行政情報（市民課待合室のモニター）にて注意喚起を行った。また、消費生活講座では、シニア層向けのスマホ安全教室を開催し、スマホの操作体験とあわせて、インターネット上の消費者トラブルの紹介を行った。

市内イベント参加回数：10回、くらしの講座開催回数：11回、消費生活講座開催回数：1回

#### 課題・改善点

消費者行政推進事業補助金を活用し、市内開催イベント等で啓発物品を配布していたが、令和6年度で補助金が終了となったため、消費者被害に関する周知・啓発の新たな手法等について検討する必要がある。

#### 今後の方針

継続

#### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる

## 取組項目 防犯活動の促進

取組内容 高齢、障がい、認知症などにより、判断能力が十分でない人の消費者被害を未然に防止するため、「門真市消費者安全確保地域協議会」を運営

人権市民相談課

### 取組状況

「門真市消費者安全確保地域協議会」については、弁護士、警察、福祉関係機関、庁内関係課などで構成されている。令和6年度より、協議会の構成員として、新たに「門真市介護保険サービス事業者連絡会居宅介護支援分科会」が参入した。

本協議会を年に2回開催し、高齢、障がい、認知症などにより、判断能力が十分でない人の消費者被害の情報について、構成員間で情報共有を行うとともに、見守り活動に役立つ情報として、「見守り情報誌」を4回発行した。また、協議会構成員及び地域の見守り活動の方を対象に消費者トラブルについて、クイズ形式で学ぶ研修会を1回開催した。

### 課題・改善点

新たな手法や視点での取り組みを検討する必要がある。また、研修会については、研修内容や対象者などについて検討する必要がある。

### 今後の方針

継続

### 評価

 A

目標達成に向けて順調に進んでいる